

第 3 次 豊 川 市 都 市 計 画 マ ス タ ー プ ラ ン
豊 川 市 立 地 適 正 化 計 画 （ 令 和 2 年 度 改 定 版 ）

住民説明会の結果報告

説明会参加者集計

	合計
11月17日（火） 南部、代田、中部、小坂井	23 名
11月20日（金） 東部、金屋、一宮	16 名
11月27日（金） 西部、音羽、御津	11 名
合計	50 名

説明動画視聴回数集計

期間：令和2年11月17日（火）から令和2年12月4日（金）

	視聴回数
全体構想	180 回
東部	56 回
南部	39 回
中部	37 回
西部	40 回
代田	42 回
金屋	31 回
一宮	41 回
音羽	32 回
御津	38 回
小坂井	40 回
立適	138 回
視聴回数総合計	714 回

会場での意見

No.	意見	意見に市の回答	備考
11月17日			
意見なし			
11月20日			
第3次豊川市都市計画マスタープラン			
1	第2次都市計画マスタープランに基づいて何を実行してきたのか。都市計画マスタープランがあること自体知らない人が多いのではないか。計画だけつくっても意味がない。実行プランをつくっていただきたい。前回のプランを策定して以降、何ができたのかを明らかにしてほしい。今回のプランでも、いつまでに何を進めるのか明らかにしてほしい。行動プランが全くみえない。その検証結果を示していただきたい。	都市計画マスタープランは、今後の豊川市における都市づくりの方針・方向性を示すものであり、アクションプランではないことをご理解願います。第2次プランの進捗は時間がなくてふれることはできませんでしたが、今回第3次プランを策定するにあたり、達成度を検証しています。今回の説明会では時間の都合上、割愛させていただきましたが、きちんと検証を踏まえ策定していることをご理解願います。	
2	今後は、この第3次プランに基づいた取組みを実行していくと考えてよいか。	ご指摘のとおり、計画をつくっただけでは意味がないと考えております。今回のプランに沿って個別事業を進めていく予定であるとと考えていただければと思います。	
3	一宮地域では、今後どんな取組みを進めていくのかを知りたくて参加させていただいた。今日の説明で一宮地域では、公共施設の再編・整備を進めていくとあったが、この地域ではこれが優先的に取り組むべきことだと考えている。地域の人たちの声をよく聞いて皆が納得するようなまちづくりを進めていただきたい。直接、住民の声を聞いて公共施設の再編・統廃合の検討を進めてほしい。今後アンケート等で住民の声を聞いていただけると考えてよいか。その場合、いつ頃実施していただけるのか。	公共施設の再編について検討を進める予定であることは担当課から聞いていますが、具体的なことまでは担当課でないため答えられません。都市計画マスタープランは、大きな方向性を示すものですので、アンケート調査等を含め具体的な工程計画まではお示しすることができません。既に小坂井地域では公共施設再編の検討が進められており、この例を参考に担当課の方で進めていくことと思います。都市計画マスタープランは、あくまでそういった方向性を示すものであることをご理解願います。	
豊川市立地適正化計画（令和2年度改定版）			
1	今の世の中変化が激しい。変化が起きたらここに書いてあることが通用しなくなることも考えられるため、変化があればそれに対応していくよう、心に留めておいていただきたい。	いただいた意見を参考にさせていただきます。	
2	津波災害計画区域の検証について、「除外するエリアは無い。」とされてるが、浸水想定2m以上の箇所があるエリアが示されている。浸水想定2m以上の箇所は道路等の居住地ではないかもしれないが、津波なので、このエリアは基本的には除外した方が良くはないかと思う。あえて除外しないと、住民にとって危険が及ぶので、居住の誘導をしていいのか。	国土交通省が取りまとめた東日本大震災の被災状況の調査結果によると、浸水深2m前後で家屋の全壊・半壊・倒壊等の被災状況に大きく差が出ているということが示されています。この内容を踏まえて、豊川市立地適正化計画では、浸水深2mを居住誘導区域に含めるかどうかの基準としています。計画上の取り決めに加えて、洪水が想定されるような場所については、転入、転居のタイミングで洪水ハザードマップを配付し、避難場所の確認等の防災面の取組みを実施しており、双方により、市民の命を守る取組みとして実践していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	

3	<p>中心市街地から外側に住む地域住民にとっては、立地適正化計画からすると誘導区域から外れた地域になってくる。今後、人口が減っていくので人口密度を上げていくために居住誘導区域地域を設定し、そこに皆さん来てくださいと言うことですが、来たくても来られない人もいます。前提として、人口増加とかより、それぞれの地域で住みやすいまちづくりを住民の意見を取り入れながら作っていくということが大事と思っている。また、居住誘導区域へ誘導していくということには困難さを感じている。ある一定のお金がないと引っ越してこれない。住宅の取得支援をやっているが、市内の方が引っ越してくるのはダメで、市外からの人達で、子育て中の人、中学生以下には一人10万円、固定資産税も支援しますよということで来てくださっているということですが、不公平感を感じる。今住んでいる地域全体のみなさんが暮らしやすいように何をやっていくかということも、まずそこからやってほしいと思う。</p>	<p>いただいた意見を参考にさせていただきます。</p>	
4	<p>豊川市で人口を増やすとしたら、働く場所・買い物する場所を作らないといけない。魅力がないと来ない。いくらお金をあげたって人は来ない。豊川市にある基幹産業とは何かということも含めて、作ってきた町をどうやって大事に発展させるかということだと思うので、何か新しいものをもってくる、大企業が来るということではなくて、ここで住んでいる人たちの商業だとか農業、林業、本当に大事にするものがあると思う。独自のものを作らないと大変じゃないかと思っている。</p>	<p>いただいた意見を参考にさせていただきます。</p>	
11月27日			
第3次豊川市都市計画マスタープラン			
1	<p>御津地域について、まちづくりの方針で国道23号線バイパスの整備が示されているが、側道などの地域住民が使用する生活道路の整備について触れていないのはなぜか。 また、御津地域には沿岸部に工業地域があり、周辺他市のように三河湾があることを活かして工業振興が図ることができるよう、もう少し港との連携について記載してもらえるとよいと思う。 また、御津地域の市民協働で目指す取組みのなかで、東三河ふるさと公園内における竹林整備とあるが、竹林は園内の一部しかない。その竹林だけを取り上げるのはなぜか。最近、公園内は十分に整備されておらず大変荒れてしまっている。里山保全とあるが、里山と呼べる状況にはないように思う。</p>	<p>生活道路については、御津地域に限らず、市域全体で整備や改善を行う方針としている。そのため、地域別のまちづくりの方針では記載をしていない。 市民協働で目指す取組みについては、現在、市民団体により取組まれている活動をもとに、今後協働して進めていく取組みとして記載をしている。 港の連携については、貴重なご意見として伺い、今後の市の施策の参考にさせていただきます。</p>	
2	<p>国道23号線バイパスの側道について、地元説明会で、市の担当者より、側道の幅員が4mになると説明を受けた。4mの幅員だと安全な生活道路だと言えないと思う。</p>	<p>いただいた意見を参考にさせていただきます。</p>	
3	<p>地域別構想の市民協働で目指す取組みの里山の会は正式な名称ではないので修正してほしい。</p>	<p>担当課へ確認したところ、ご指摘のとおり「とよかわ里山の会」が正式名称であるため修正いたします。</p>	

メール、郵送、あいち電子申請による意見

No.	提出意見	提出意見に対する市の考え方	備考
第3次豊川市都市計画マスタープラン			
1	<p>P22 (2)-5 都市施設整備（その他都市施設）の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の多機能化・複合化を図ることにより、地域コミュニティの…… <p>全体の事ではなく私の住んでいる「広石市民館」について費用縮減問題について記述します。</p> <p>現在市民館は民地に建設されています。私が知ったのは十数年前である。市から地域へ助成金を受けている中から用地費を払っていたので地代の掛からない場所への移設を提案し予算を他行事へ流用する提案をしたが、「検討中」発言のまま今日まで経過している。今年度の市のマスタープランに記載してある以上、市として指導し良い方向に導いていただきたい。</p>	<p>ご意見については参考とさせていただきます。</p>	
2	<p>P23 (3) 市街地整備の方針</p> <p>マスタープランには 市街地整備と限定した記述となっているが、それ以外の地域でも同様な問題点で指導・誘導して欲しい問題も多々ある。市民からの依頼・お願いがあれば広い目に対応できる窓口を設けることも必要ではないでしょうか？。</p>	<p>整備としては市街地に限定しているわけではありません。担当分野で要望等を受け対応しております。担当が不明な場合は都市計画課よりご案内いたしますのでお気軽にお問い合わせください。</p>	
3	<p>P28 4 地域のまちづくり方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東三河ふるさと公園の整備を促進し、……… 交流の場の整備を愛知県へ働きかけます。 <p>現在のふるさと公園整備は現地に行ってみれば分かりますが、主管理道路付近は整備されている。一步奥に入ると整備が届いていないのが現実である。</p> <p>(その様な姿を目指しているのか、予算がなく手が届かないでいるかは不明です)</p> <p>今後、計画されているエリアの増設施設も最近見直しを考えてアンケートを取った話も聞いています。</p> <p>現在の多くの山々を残した道路・施設は急峻で狭い。道路は健脚向きで施設に於いても大きな催しは不可能である。大きな催しは他のエリアで考えるとしても 山々を散策するには散策道を階段で処理するのではなく林間を緩やかに上がり降り出来る緩やかな(距離は長くなる)道路を現在開設公園エリアも含めて公園内に設けて欲しいと思います。</p>	<p>ご意見としていただきました現状や整備手法については、実施主体である愛知県にも伝えながら、整備について要望を進めてまいります。</p>	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点であるJR愛知御津駅周辺は、橋上化や南北自由通路、……… <p>現在、地元役員段階で話は進んでいるかもしれませんが 一つの考えとして記述します。せっかく新設される駅ならば地元の特徴あるデザインを望んでも良いのではないかと。例えば 御津の海のイメージで 屋根の形を波形にするとか 話題に成るような物を考えて欲しい。但し将来の維持管理に費用がかからない様な構造・スタイルにもして欲しい。</p> <p>別に書いた様に将来御津の海に大岸壁が出来た場合には船からの荷物船への荷物の運搬は車ではなく貨車での大量運搬も考えられるのではないかと。</p> <p>その為に、多くの障害が考えられるがJR東海道本線が近くに走っているので港への引き込み線も考えて大量に運搬出来ると、他都市との差別化をするのも良いのではないかと。</p>	<p>ご意見につきましては、事業を計画していくための参考とさせていただきます。</p>	

5	<p>P18 (2)ー1 都市施設整備(道路)の方針</p> <p>・スマートインターチェンジ</p> <p>平成26年度に市民に対してアンケート調査をし「赤塚¹ -キング²エリアのスマートインター設置」に約54%の方が期待をしている状況で検討段階を終えているべきではないか。</p>	<p>今年度、「道の駅・スマートインターチェンジ導入可能性調査業務委託」を実施しており、今後必要性も含め検討を行ってまいります。</p>	
6	<p>・道の駅</p> <p>名豊道路の道の駅が考えられる。</p> <p>西方向には「筆柿の里」東方向には「豊橋」が整備完了している。2駅の距離間が長すぎるので中間点1か所設置を豊川市に考えても良いかと思う。随分前に名豊道路金野¹付近にという話を聞いた事があります。</p> <p>その現地のアクセス県道路事情を考えると整備が遅れている。開通予定も決まっていなければアクセス県道路を先行させて計画を進めるべきではないかと思っております。</p>	<p>今年度、「道の駅・スマートインターチェンジ導入可能性調査業務委託」を実施しており、今年度必要性も含め検討を行ってまいります。</p> <p>アクセス道路の整備に関しては関係機関へ働きかけを行ってまいります。</p>	
7	<p>・既成市街地で多くみられる幅員4m未満の狭い道路の改善を図ります。</p> <p>23号BP側道について国交省の説明時W=11mの説明</p> <p>直近の説明（豊川市同席発言）W=4mと今回の記述とは相反する発言で不信感を持った。尚、当道路沿いには工場がありしばしば大型車が進入しその時は車両が広い退避場所待機していなければ通行が出来ない状況です。4mのストレートの道路では何処ですれ違いが出来るのか完成に向けて心配している。又、御津高校生徒の自転車通学は当道路を利用し登下校をしている。狭く・現地合わせて曲がった歩道(自転車通行可)であるため生徒は歩道でなく車道を通行する生徒も多くいて危険であります。</p> <p>市職員はじめ関係者は十分な現地踏査をして、高校生の通学状況、近隣の住民の通行状況を把握してください。今まで 国土交通省の計画説明・業者の施工・変更の説明・都市計画道路変更等々、時系列にも出来た物について後付け説明での変更もあったのではと思っています。</p>	<p>ご意見をいただきました道路については、公共交通状況や地域の要望状況を踏まえたうえで、関係機関への働きかけや改善を検討してまいりたいと考えています。</p>	
8	<p>・道路の緑化や無電柱化など……</p> <p>道路の緑化について愛知県は計画緑地帯は 完成後維持管理費用が多くなる為砕石を敷いたり、Asを施工したりする事もある話を聞く、豊川市は検討はしないのですか。私は、予算があれば緑地は続けて欲しいと思っています。</p>	<p>拠点間をつなぐ主要な幹線道路については、緑の基本計画に基づき、緑を感じられる空間の形成を図ってまいります。</p>	

9	<p>P20 (2)-3 都市施設整備（公園・緑地）の方針 ・……市民活動団体などの参画を促進するための仕組みづくりを進めます。</p> <p>私も「市民活動団体」の会に属していてふるさと公園の一部整備を行っています。 とても広域な「東三河ふるさと公園」は現在124.4ha、（将来は174.8ha）と広域で管理者(都市整備協会)の方々も一生涯懸命整備に努めておられます。</p> <p>これ以上の整備をするのは県からの助成金増額が無くしては私の素人目から無理と思えます。豊川市内にある県営公園で皆で楽しめる様に整備するには県からの助成金増額を市からも強く要望して欲しい。 当会が発足した時点では豊川市の環境部(当時)環境課の職員(管理職含む)が教育講座を計画し講座終了後は会発足まで会則作成等協力し 活動時必要な助成金情報提供の協力援助があり5年目を迎える事が出来ました。</p> <p>市民と行政の協働には、活動を支えるため情報を提供したり相談に乗ったりする人的支援と活動を保証する金銭面の支援の2つが必要です。行政には、この2つを期待します。</p>	<p>市としても、東三河ふるさと公園における市民活動については重要であると考えております。いただいたご意見については県担当部局へ要望を伝えていきたいと考えています。</p>	
10	<p>P6 目標2 都市活力の課題 ・多様な産業が集積、連携・・・文化を活かした多彩な交流が生まれる都市づくり ・産業機能 都市機能 多彩な交流を育む との記述</p> <p>産業機能、都市機能、文化を活かした都市づくりの3項目がどのようにつながって都市の活力が生まれるのか、イメージできません。(すみません。読解力が足りません)もう少し具体的な街を描いてください。</p>	<p>産業機能、都市機能、文化の3項目として、市民が利用する施設を中心として市民が集い交流する機会を創出し、中心市街地の活性化、集客や雇用を生み出すこと、歴史・文化を通じた交流を育むことなどで市内外からの交流人口の拡大を図っていくことで都市の活力へつなげていきたいと考えています。</p>	
11	<p>P12 (1)土地利用の方針 図面に 凡例が記載されていないので前を見返さなければならない。各図面に凡例が入っていれば嬉しい。</p>	<p>使用する図面や表に関しては凡例を入れるよう対応します。</p>	
12	<p>P16 (1)土地利用の方針 ・臨海部工業用地・・・</p> <p>近隣の豊橋市、蒲郡市は 製品等の搬出入に港を利用し大きな経済効果を生んでいる。豊川市は小規模の岸壁のみで他市の活用と比べると非常に遅れている。</p> <p>2008年1月15日(平成20年)合併(御津・音羽)した新豊川から12年経過している。出遅れは明白である。</p> <p>今後は、特徴ある方向を見出し遅れを取り戻す必要あり。</p> <p>説明会で水深が浅い答えがあったが三河湾は昔は、遠浅の海岸で海水浴・潮干狩りで栄えた。湾全体が浅く各港は航路を計画的に掘削し港湾設備を活かしている。逆に現在は湾内のあちらこちらで埋め立てが進み海も環境も良くない。海の開発を進めながら環境改善を考えながら整備される事を望みたい。</p>	<p>三河港は、愛知県が定める三河港港湾計画に基づき整備・活用が図られており、同計画では、港湾施設の規模及び配置が示されています。豊川市の御津地区においては、2000t級の船舶が着岸できる埠頭が整備されていることから、臨海部への企業誘致を図り、都市計画道路等と連携しつつ埠頭施設の利活用を図っていきたいと考えています。</p>	

13	<p>1、住民説明会の説明について</p> <p>事前に作成された【動画】で行われたことについて動画は綺麗に間違い無い様に作成され会場内は緊張感が全く感じられなかった。動画作成も外部にどの程度のお金で依頼したのかわかりませんが流れた画像は綺麗ではあった。</p> <p>職員の緊張感あふれる肉声とは違い動画はそつなく次へ次へと子守歌の様な女性の声と共に流れ多くの人は眠くなってしまった？<失礼>ではなからうか？。</p> <p>今回は、説明画像等の画面に流しても良いが 肉声での発表を望みたい。</p>	<p>動画の利用については今回初めての取り組みであり、会場に来られなかった方と内容が異なってしまうことを防ぐために会場でも説明動画を利用させていただきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策など、今後も説明会の在り方を検討していく必要があると考えています。</p>	
14	<p>開催告知について</p> <p>会場ホールには十分な席が設けられていた。しかし来場者は数十人でガラガラ状態であった。開催告知方法が満足では無かったのではないかと。自分たちの将来の街に関係する事であるのでもっと多数の市民の出席の中で説明会をして多くの意見を収集出来る方法を検討して欲しい。</p>	<p>今回は新型コロナウイルス感染防止対策として、会場に来なくても動画で説明内容を確認する機会を取っており会場への来場者が少なかったのではないかと考えられます。周知についても広報、ホームページ、SNS（ツイッター）を利用し市民への周知を図りました。意見については電子メール、郵送、あいち電子申請・届出システムによる提出を受け付けています。今後も開催周知方法については検討を行っていきたくと考えています。</p>	
15	<p>・第3章 地域別構想 (PDF: 10.204KB) P120</p> <p>ふるさと公園の写真は 御油にある「あそび宿」の写真であり御津地域では不自然となる写真ではないですか。</p>	<p>ご指摘いただいた内容については現行の都市計画マスタープランの内容であり、第3次豊川市都市計画マスタープランで掲載する場合は留意いたします。</p>	
16	<p>・豊川市都市計画マスタープラン 住民説明会 地域別構想(西部・音羽・御津)</p> <p>・P31 6 市民協働で目指す取り組み</p> <p>添付活動している写真の<里山の会>記述は<とよかわ里山の会>が正式名です。</p>	<p>ご指摘の通り修正いたします。</p>	
17	<p>説明会[資料1]</p> <p>記述内容がマスターでは大まか過ぎる。説明内容を噛み砕かないと市民には分かりにくい。</p>	<p>都市計画マスタープランは総合的な指針を示すものでありますが、ご指摘の通り市民の皆様にご理解いただける様に今後もわかりやすい資料作成に努めてまいります。</p>	
18	<p>P5 目標1 都市構造の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車に過度に頼らなくて <ul style="list-style-type: none"> → 歩いて暮らしやすいコンパクトにまとまった → 生活圏の形成を図る には ・P23 (2)→2都市施設整備（公共交通）の方針との連携が重要 <p>以前から検討課題が多いコミュニティバスの利便性をアップしなくてはならない。</p> <p>現在の記述には・・・需要に適した・・・とまだ曖昧な文言で書かれている。</p> <p>現在は2時間に1本など、使い勝手が悪い。必用な時に利用できるようなシステムに変えて欲しい。</p>	<p>コミュニティバスの運用方法に関するご意見として、参考にさせていただきます。</p>	

第3次豊川市都市計画マスタープラン・立地適正化計画（令和2年度改定版）

1	<p>「都市機能誘導区域」に牛久保地区が入っていない。</p> <p>豊川市は、昭和18年6月1日に豊川町、牛久保町、国府町、八幡村と3町1村が合併してできた。その後、旧宝飯郡の一宮町、御津町、音羽町、小坂井町が加わり、7地区が現在の豊川市となった。</p> <p>「都市機能誘導区域」を見ると、旧宝飯郡を含め、現在の豊川市内の鉄道駅が核となって区域指定となっているように散見される。なのに、牛久保駅がある牛久保地区だけが、指定から除かれている。地元の総代などの代表者たちも除外されていることを知らない。知らないうちに決まったのかと思ってしまう。</p> <p>「密集市街地の防災まちづくりの推進」に牛久保地区が最初に手を挙げて指定されたことで「都市機能誘導区域」から除外されたのではないかという噂もあるが、他地区でも、密集地区が散見される所が多くあるのに、牛久保地区の除外は、理解できない。</p> <p>今後、牛久保地区を是非「都市機能誘導区域」に加えることを検討してほしい。</p>	<p>拠点については第6次豊川市総合計画のまちの構造図で、主要な鉄道駅周辺の市街地を拠点として位置付けています。都市計画マスタープランにおいても総合計画の考え方に基づき拠点を位置づけしています。関連する立地適正化計画についても同様に位置付け、都市機能誘導区域を配置しております。</p> <p>現在、総合計画の見直しを行っておりますが、拠点に関する考え方については現行計画と変更はなく、引き継ぐ予定をしております。</p>	
---	--	---	--